

## 死の相聞歌 2

この亡骸を抱いて  
僕はここで眠る

ああ、どうしてたったひとり  
貴方は黙って飲み干してしまったのか

ひとりで飲めば死ぬと  
分かっているながら飲み干すなんて

盃が空となった今では  
僕がそれを飲み干すこともできない

そして貴方の居なくなった今では  
この盃をもう一度満たすこともできない

ああ、時間よ  
風のように過ぎてしまえ  
そして僕の身体を朽ちさせてくれ  
この亡骸の隣りで

(1999.9.30)